

FXIアドオンコマンド

ー括変換コマンド 取扱説明書

アンドール株式会社

はじめに

本取扱説明書は、『一括変換コマンド』について解説しています。 本アドオンコマンドは、ANDOR 社製 2次元 CAD システム <u>CADSUPER FX II (以下、FX II)</u>で動作することを 前提に開発されています。

アドオンコマンドのインストール/アンインストール

アドオンコマンドを利用するには、セットアッププログラム<u>「FX2AddonSetup. exe」</u>を実行します。セットアッププログ ラムを実行すると、セットアップダイアログが表示されますので、セットアップしたい項目がチェックされているかを 確認し、<u>[インストール]</u>ボタンを選択してください。

インストールが正常に完了すると、FXIIに「アドオン」ツールバーが追加されアドオンコマンドが作成されます。

アドオンコマンドのアンインストールを行う場合は、[アンインストール]ボタンを選択してください。



アンドール株式会社

⑦ 変換対象のファイル種類 FX II に変換するファイルの種類を選択します。 選択できるファイル種類は、[SX]、[JX]、[FX]、及び、[その他]で指定したファイル拡張子です。 変換対象ファイルの種類 SX(S) JX(J) FX(F) その他@) sym.dat [その他]を有効にすると、任意のファイル拡張子を指定できます。 また、セミコロン「;」で区切ることにより、複数のファイル拡張子を指定できます。 (例) dat;sym

② 変換元フォルダ・変換先フォルダの指定

変換元フォルダ 変換先フォルダ	: 変換するデータファイルが格納されているフォルダ : 変換後のデータファイル保存先のフォルダ	
変換元フォルダ(M):	C.¥CADCAM¥Data¥変換元	参照(<u>R</u>)
変換先フォルダ(<u>N</u>):	C¥CADCAM¥Data¥変換先 ※変換先フォルダを指定しない場合は、変換元ファイルと同じ場所に保存します	参照(<u>©</u>)

※ 変換先フォルダを指定しない場合は、変換元と同じフォルダに保存されます。

③ フォルダの参照

変換元フォルダ、及び、変換先フォルダを選択します。

フォルダの参照 ? 🗙
変換元フォルダを選択してください。
🖬 📋 マイ ドキュメント
🖻 🧕 マイ コンピュータ
🖃 🥪 OS (C:)
🗄 🧰 Cadsuper
GADSUPER FX2 GOODER FX2 GOODER FX2 GOODER FX2
🔂 部品データ
🛅 変換先
🗉 🛅 DesignFlow(AutoDrawing) 🛛 🗸 🗸
「新しいフォルダの作成(M)」 OK キャンセル

④ ファイル検索

変換元フォルダ内の変換対象のファイルを検索し、リストに表示します。

[オプション]ー[変換元フォルダのサブフォルダ内のファイルも変換対象とする] にチェックを入れて、[ファイル 検索] を実行すると、変換元フォルダ以下の全ての変換対象ファイルを検索します。

⑤ 変換後のファイル名

変換後のファイル名を指定します。

変換後のファイル名

○デフォルト拡張子を使用する(D) [例) Sample.dat → Sample.csd]

●旧ファイル拡張子を新ファイル名に取り込む(A)

連結文字(出)	~	[例) Sample.dat → Sample_dat.csd]			
.@(~ + - = #	•	デフォルト拡張子を使用する 変換後のファイル名は、ファイル拡張子を「 csd 」に変更して保存されます。 但し、SX・JX・FXの部品ファイル(*.sbl、*.sym、*.fxs)は、ファイル拡張子な 「 csp 」に変更して保存されます。			
\$ % &		旧ファイル拡張子を新ファイル名に取り込む 変換後のファイル名は、変換元ファイルの拡張子名を取り込みます。(拡張 子は上記と同じ) ファイル名と旧拡張子との連結文字は、プルダウンメニューより選択できま す。			

⑥ オプション

変換のオプションを設定します。

ーオブションー

✓変換元フォルダのサブフォルダ内のファイルも変換対象とする(T)

✓変換元のフォルダ構造を再現して保存する(W)

✓変換先ファイル名の重複チェックを行う(H)

□ 変換先フォルダに同名ファイルがある場合、上書き保存する(2)

・変換元フォルダのサブフォルダ内のファイルも変換対象とする

このオプションを「有効」にすると、④[ファイル検索]を実行した時、 変換元フォルダ配下の全フォルダを検索対象に、変換対象ファイルを検索、リスト表示します。 「無効」にすると、変換元フォルダの1階層目のみをファイル検索します。

・変換元のフォルダ構造を再現して保存する

このオプションを「有効」にすると、⑦「変換開始」を実行した時、 変換先に、変換元フォルダ内のフォルダ階層構造を再現して、変換ファイルを保存します。 無効にすると、変換ファイルは、変換先フォルダの1階層目に全て保存されます。

・変換先ファイル名の重複チェックを行う

このオプションを「有効」にすると、④[ファイル検索]、⑤[変換後のファイル名]を変更した時に、変換先 で変換後ファイル名が、重複していないかチェックを行います。 無効にすると、重複チェックは行いません。

・変換先フォルダに同名ファイルがある場合、上書き保存する

このオプションを「有効」にすると、⑦「変換開始」を実行した時、 変換先に変換ファイル名と同じファイルが存在する場合、上書き保存します。 無効にすると、上書き保存せず、変換エラーとしてリストに表示します。

⑦ 変換開始

リストに変換するファイル一覧がある時、このボタンを押すと、FXIIへの変換を開始します。 変換中は、⑧[中止]ボタン以外のコントロールは全て無効となります。 また、リスト表示、プログレスバーにより、変換の進捗状況が表示されます。

⑧ 中止

このボタンを押すと、④[ファイル検索]、「重複チェック]、⑦[変換開始]の実行を中止することができます。

⑨ 変換するファイルのリスト表示

ファイル検索した、変換対象のファイルを一覧表示します。 また、リスト列のタイトルをクリックすると、アイテムを並び替えることができます。

■リスト表示の内容

変換結果 О		変換成功	
		変換先に同名ファイルが存在する為、変換失敗(※1)	
	×	変換失敗	
重複結果 △ 変技		変換先ファイル名 と 変換先フォルダパスが、	
		リストビュー内の他の変換ファイルと重複している	
種類		変換対象ファイルの種類	
変換元ファイル名		変換元のファイル名	
変換元フォルダパス		変換元のフォルダパス	
変換先ファイル名		変換先のファイル名	
変換先フォルダパス		変換先のフォルダパス	

※1: ⑥[オプション] – [変換先フォルダに同名ファイルがある場合、上書き保存する] が、チェックされていない場合のみ。

■ポップアップメニュー

リスト内のアイテムを選択し、右クリックすると、個別に「変換」、「削除」を選択・実行できます。

	種類	変換元ファイル名	変換元フォルダバス	変換先ファイル名	変換先フォルダバス
ľ	FX	SAMPLE1.FXD	C:¥CADCAM¥Data¥変換元¥図面データ	SAMPLE1_FXD.CSD	Ci¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥図面データ
l	FX	SAMPLEZ.FXD	Ci¥CADCAM¥Data¥変換元判図面テータ	SAMPLE2_FXD.OSD	CIFCADCAMFDataF変換元手変換元判図面ナータ
L	FX F	SAMPLE3.FXU	「UI#UHUUHM#Data#変換元判図面ナーター・	SAMPLE3_FX0.050	- UPPURDURAMEData#変換元#変換元判図面ナーター
	FX	SAMPLE4.FXD	C:¥CADCAM¥Data¥変換元¥図面データ	SAMPLE4_FXD.CSD	Ci¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥図面データ
	FX	サンブル.FXS	C:¥CADCAM¥Data¥変換元¥部品データ	サンブル_FXS.CSP	Ci¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥部品データ
l	FX	側面図01.FXS	C:¥CADCAM¥Data¥変換元¥部品データ	側面図01_FXS.CSP	- C:¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥部品データ
	FX	正面図00.FXS	Ci¥CADCAM¥Data¥変換元¥部品データ	正面図00_FXS.CSP	C.¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥部品データ
l	JX	sample.jx		sample_jx.CSD	CI¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥図面データ
l	JX	jxtest.SYM	C:¥CADCAM¥Data¥] X3X(E) F8	jxtest_SYM.CSP	C¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥部品データ
1	SX	SAMPLE1.SX	C:¥CADCAM¥Data¥; 削除(<u>D</u>) Delete	SAMPLE1_SXCSD	C\¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥図面データ
	SX	SXTEST.SBL	C:¥CADCAM¥Data¥淩沢元¥言Pooナージ	SXTEST_SBLCSP	Ci¥CADCAM¥Data¥変換先¥変換元¥部品データ

アイテムは、「Shift キー + クリック」、または、「Ctrl キー + クリック」で複数選択できます。

・ [変換]コマンド

選択されたアイテム(変換元ファイル)のみ、FXIIに変換されます。 また、アイテムを選択し、「F8キー」を押すことにより、同様にFXIIへの変換を実行できます。

・「削除コマンド

選択されたアイテムをリスト上から削除します。ただし、変換元ファイル自体は削除しません。 また、アイテムを選択し、「Deleteキー」を押すことにより、同様にリスト上からの削除を実行できます。

~ 終わり ~